

<記入の手引き>

2025年度ドコモ市民活動団体助成事業 申請書

活動テーマ1：生物多様性の保全を推進する活動

NPO法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド理事長殿

※改行は「Alt+Enter」で行ってください。

申請日： _____

フォントは、11ポイントで設定されています

団体名： _____

(ふりがな)： _____

代表者名： _____

協働申請の場合は、項番10,11 (8ページ目)に必要事項を記入してください。

役職名： _____

申請区分 (新規、継続の別) _____

※プルダウンから選択してください。

申請区分 (単独、協働の別) _____

※プルダウンから選択してください。

申請区分 (法人格の有無) _____

※プルダウンから選択してください。

団体所在地の都道府県 _____

※プルダウンから選択してください。

申請団体	団体所在地	(〒 _____) <input type="checkbox"/> 個人宅 <input type="checkbox"/> 勤務先等	団体専用/個人宅/勤務先等から一つを選択し、チェック
	電話番号	電話番号にハイフンをいれてください	
連絡窓口	URL	団体ウェブサイト、SNS (Facebook、Instagram 等) のURLをご記入ください。	
	住所	(〒 _____) <input type="checkbox"/> 勤務先等	団体専用/個人宅/勤務先等から一つを選択し、チェック
	(ふりがな) 連絡責任者		
	電話番号	(固定) _____ (携帯) _____	連絡可能時間帯(日中) _____ 時間帯(日中) _____
	E-mail※		

※選考結果通知等の連絡は、2025年8月末(予定)までに文書でお知らせします。

1. 団体の概要

1-1. 団体の概要 (法人格有の団体向け)

NPO法人/NPO法人以外の法人格 (民間の非営利活動法人に限る) のいずれかをチェック。NPO法人以外は法人格を記入してください。

団体種別	<input type="checkbox"/> NPO法人	<input type="checkbox"/> NPO法人以外の法人格 (_____)
主な活動分野	NPO法人の場合は、NPO法に規定する主な活動分野について、それ以外の法人は、主に活動している分野についてご記入ください。	
設立の目的		
設立時期	(法人格取得時期: _____)	
会員数	正会員	個人 _____ 人 企業・団体 _____ 人
団体職員数	常勤	_____ 人
ボランティア※	無償	_____ 人
		非常勤 _____ 人 有償 _____ 人

※交通費・食費等の実費補てんを目的とするものは無償として、その他の対価的(日当など)に支払われるものは有償とします。

1-2. 団体の概要 (任意団体向け)

設立の目的	任意団体の場合、こちらにご記入ください。			
設立時期				
団体メンバー	常勤	_____ 人	非常勤	_____ 人
ボランティア※	無償	_____ 人	有償	_____ 人

※交通費・食費等の実費補てんを目的とするものは無償として、その他の対価的(日当など)に支払われるものは有償とします。

推薦者 (任意団体：必須)

所属・役職			
氏名			
問合せ連絡先	電話番号		
推薦コメント	任意団体の場合、推薦者名と推薦コメントが必須となりますので、事前に推薦者にコメントの作成を依頼し、その内容を記入してください。(氏名の記載については自署の必要はありません) ※審査の過程において、MCF事務局から推薦者に確認の連絡をさせていただく場合がありますので、事前に了解を得ておいてください。		

※推薦者は中間支援組織 (NPO支援センターやボランティアセンター、社会福祉協議会などの活動支援団体) の職員で団体の活動状況について把握している方。なお、申請書を作成する場合には、同時並行で推薦団体へ打診するなど、事前の了解を得ておいてください。

2. 団体の財政状況

(1) 2024年度決算見込

経常収益	円	経常支出	円
------	---	------	---

※申請書記入日時点の見込額を記入してください。

※申請書記載日時点の見込額を記入してください。

(2) 上記2024年度の経常収益内訳

※会費、寄付、自主事業、受託事業等、収入についてそれぞれの金額を記入してください。

※自主事業、助成金・補助金、受託事業は主要なものを2つまで記入してください。

会費	円	%			円	
寄付	円	%			円	
自主事業	円	% ①	主な対象		円	
			事業内容			
			②	主な対象		円
			事業内容			
助成金等	円	% ①	助成元		円	
			事業内容			
			②	助成元		円
			事業内容			
受託事業	円	% ①	委託元		円	
			事業内容			
			②	委託元		円
			事業内容			
その他	円	%			円	
合計	0円	%			円	

※申請書記載日時点の見込額を記入してください。

(3) 2025年度予算

経常収益	円	経常支出	円
------	---	------	---

※申請書記入日時点の見込額を記入してください。

3. 活動テーマの分類

活動テーマを1つプルダウンから選択してください。

最も該当する活動テーマを1つプルダウンから選択してください。

上記回答で「その他」を選択した場合、下記欄に具体的活動テーマを記入してください。

4. この助成金で達成したいこと

(1) 活動タイトル及び活動概要

今回の助成金を活用して実施する活動のタイトルとその概要について、背景や課題とともに記入してください。

活動タイトル および活動概要	活動タイトル (40文字以内)	十分に活動内容が分かる タイトルとしてください。
	活動概要 (300文字程度)	
	上記の活動タイトルを具体的に説明してください。申請書全体の要約として、活動概要を分かりやすく記入してください。	

※活動概要は、申請書全体を要約して、分かりやすく記入してください。

(2) 生物多様性の保全に関して、団体が考える未来のあるべき姿（ビジョン）と社会的役割（ミッション）/現状と課題/今後の活動
 団体が考える望ましい社会状況から現状の課題を示し、その上で、今後3年間で実施する活動をまとめてください。

<p>①</p> <p>ビジョン・ミッション・めざす活動基盤 (各300文字程度)</p>	<p>活動対象地域における生物多様性の保全に関する現状と課題 (600文字程度)</p> <p>②</p>
<p>■望ましい社会状況（ビジョン）</p> <p>●団体の現在の活動目的を踏まえ、改めて団体内部で議論をして、団体が考える望ましい社会状況(ビジョン)について、わかりやすく記入してください。</p> <p>●あわせてビジョンをまとめるに至った経緯や理由について、エピソード等を交えてわかりやすく記入してください。</p> <p>※本項目は、団体の考え方を明確化していただく箇所であり、内容に関する評価等を行うものではありません。</p>	<p>■活動対象地域における現状と課題（定量的に示してください）</p> <p>●左で整理した将来的なビジョン、ミッションの内容（①）を踏まえ、現在の状況を確認していただきます（②）。</p> <p>●活動対象地域における生物多様性の保全に関して、活動の対象となる地域、対象種、集団等の現状と課題等について詳しく分析し、記入してください。</p> <p>●現状と課題等の記入にあたっては、活動地域等についての具体的なデータ（統計情報や団体の独自調査結果等）が示されている資料などにより、把握状況や対策の必要性について、できる限り定量的に記入してください。</p> <p>※現状・課題等の把握の一例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体がターゲットとしている対象種は活動地域にどれくらい生息しているのか、また、過去と比べて増加or減少しているのか、全国の実態と比較して高いor 低いか、等の分析。 ・各種統計情報や団体の独自調査等による客観的な現状分析。 <p>■数値データ等の出典</p>
<p>■ビジョンをまとめるに至った経緯・理由</p>	<p>■団体の課題（250文字程度）</p>
<p>■団体の社会的役割（ミッション）</p>	<p>左で整理した将来的なビジョン、ミッションの内容（①）を踏まえ、団体が、現状どこまでできていて、どこが課題となっているかという観点から、特に団体が抱える課題について、可能な限り定量的にまとめて記入してください（②）。</p>
<p>■団体の理想的な活動基盤(人的資源(ヒト)/物的資源(モノ)/活動資金(カネ)/情報(情報)等)</p>	<p>今後3年間で実施する活動 (①と②のギャップを埋めるための活動基盤とアクション)</p>
<p>●望ましい人的資源:</p>	<p>■2年間でめざす団体の活動基盤</p>
<p>●望ましい物的資源:</p>	<p>■3年間で実施するアクション</p>
<p>●望ましい活動資金:</p>	<p>●人的資源:</p>
<p>●望ましい情報:</p>	<p>●1年目(活動の内容を簡潔にご記入ください。)</p>
<p>●上記のビジョンを実現することをめざし、団体の考える社会的役割(ミッション)について、わかりやすく記入してください。</p> <p>●あわせて団体が考える理想的な活動基盤として、人的資源(ヒト)、物的資源(モノ)、活動資金(カネ)、(情報)について、記入してください。</p> <p>※本項目は、団体の考え方を明確化していただく箇所であり、内容に関する評価等を行うものではありません。</p>	<p>●将来的なビジョン、ミッションの内容（①）、また、現状と課題（②）を踏まえ、①と②のギャップを埋めるためのアクションと、活動基盤として今後3年間で実施する活動（③）について、記入してください。</p> <p>●3年間でめざす団体の活動基盤と、実施するアクションについて、1年ごとに活動内容を簡潔に記入してください。</p> <p>●記入後、もう一度、①のビジョンとミッション、②の現状と課題、③の具体的なアクションとめざす活動基盤が整合しているか確認し、必要に応じて、修正等してください。</p>

- ① 団体内部で議論をして、生物多様性の保全推進に関して、団体が考えるあるべき姿(ビジョン)と社会的役割(ミッション)をまとめてください。
- ② ①を踏まえ、活動対象地域の現状と課題について、客観的なデータ等を用いて定量的に示してください。
- ③ ①を達成するため、②を踏まえ、今後3年間で実施する活動について、まとめてください。(①=②+③)

5. 活動の受益対象、活動目標及び成果目標の設定

(1) 活動の受益対象

(2) を踏まえ、受益対象（動植物、森林・河川など）を明確化した上で、活動の着眼点・ねらいと優先度（高・中・低）を記入してください。（6件まで記入可）

活動の受益対象と活動の着眼点・ねらい (具体的な受益対象ごとに変化・向上のための着眼点・ねらいを記入してください)	番号	受益対象	受益対象の変化・向上のための着眼点・ねらい	優先度 (高・中・低)
	①		<ul style="list-style-type: none"> ● 「受益対象」を設定してください。「受益対象」は、活動や成果によって直接影響を受ける動植物・森林・河川等、また、団体メンバー・ボランティアスタッフ等も含まれます。 ● どの受益対象にどのような取り組みをすれば、「効果的な成果をもたらすのか」「課題を解消することができるのか」について検討してください。 ● 上記で明確化した受益対象について、優先度の高い項目から順番に記入し、上位3項目の受益対象の変化・向上のための1年間の活動目標を設定してください。なお、活動目標が3件未満の場合は、目標を細分化する等、必ず、3件の目標を設定してください。 	
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

(2) 具体的な活動内容

今回申請する事業について、上記(1)で記入した優先度「高」の受益対象に焦点をあて、優先度が高いものを3つに絞って、活動内容を分かりやすく具体的に記入してください。また、活動基盤の強化(人材育成・情報発信)についても、優先度の高い内容を1つ記入してください。

助成期間中 (2025.9.1～2026.8.31)の 優先度「高」の活動と活動基盤強化の内容	活動内容	活動基盤強化の内容	
	1		<ul style="list-style-type: none"> 前項で設定した受益対象の上位3項目の受益対象の変化・向上のための1年間の活動目標を分かりやすく具体的に記入してください。 ※3項目の活動目標を設定していただくことを申請条件とします。
	2		
3	<ul style="list-style-type: none"> 助成期間終了後も事業を安定的・継続的に推進できるよう、活動基盤強化の取り組みについて検討し、1年間の目標を設定してください。 ※1項目の活動目標を設定していただくことを申請条件とします。 		

(3) 活動の目標とその成果目標の設定

上記(2)の活動内容について、それぞれの活動目標と成果目標を具体的に設定してください。あわせて実施前後の状態について、可能な限り定量的に記入してください。また、団体の活動基盤の強化(人材育成・情報発信)についても、同様に記入してください。

活動名	番号	受益対象	活動(アウトプット)の目標 ※1	活動の成果(受益対象の変化・向上＝アウトカム)目標※2		
				想定される活動の成果	実施前	実施後
【例1:自然環境保全活動の場合】 絶滅危惧種キンランの保全活動	①	キンラン	下草刈り作業3回(雑木林0.5ha) 活動期間 2025.9.1～2026.7.30	キンランの保全活動が充実・強化したことにより、開花株数が増え、里山環境の保全の質が向上している。 【測定・評価のための指標】 キンラン開花株	80株	100株
【例2:環境学習活動の場合】 地域住民を対象とした外来種対策に関する実践的な学びを取り入れた自然観察会の開催	②	〇〇地域の児童生徒、大人	自然観察会 10回(延べ100名) 活動期間 2025.9.30～2026.7.30	地域住民が外来種に対する理解が深まり、継続的に保全活動に参加するようになる。それにより、外来種の侵入が減少し、固有種の生息環境が改善されている。 【測定・評価のための指標】 ・保全活動への継続的な参加者数 ・事前・事後調査で地域内の外来種の数を比較し、減少率を測定	— 外来種 100個体	継続的に保全活動に参加した人数: 50人 前々年対比: 外来種20個体(80%減)
【例3:活動基盤強化の場合】 育成マニュアル(スタッフ用・新規ボランティア用)の作成・育成と新規ボランティアの募集	④	団体メンバー、地域のボランティア	・マニュアルの作成 ・スタッフ研修: 3回 ・新規ボランティア研修: 受け入れ時 活動期間 育成マニュアル作成(2025.10～2026.1) スタッフ研修(2026.2～2026.7)	団体内の基礎対応力が向上している。また、ボランティアの増加により、年間保全活動数が増加し、動植物の生息環境が改善している。 【測定・評価のための指標】 ・新規ボランティアの人数 ・スタッフの習熟度(4段階評価表) ・年間保全活動の回数	新規ボランティア73名 スタッフスキル(3段階以上): 0人 保全活動 年1回	新規ボランティア710名 スタッフスキル(3段階以上): 5名 保全活動年3回

活動の成果目標欄の1年後の「想定する活動成果」が受益対象に対して、生物多様性の保全上どのような価値を提供できたのか等を評価するための指標を設定し、活動期間終了時に自己評価を行い、今後の有効な活動に繋げていただくことを期待しています。また、「実施前」には、活動対象の現在の状況を記入し、「実施後」には、活動の成果を数値で具体的に記入してください。

- ・活動の目標(アウトプット): 当該活動の直接の結果のこと。内容を数値で測定するための具体的な単位を示す。
- ・活動の成果(アウトカム): 当該活動を通じて生じる活動対象の変化・向上のこと。助成期間終了後、活動対象の変化・向上により、「どのような状態を実現したいのか」について記入してください。
- ・指標: 内容を数値で測定するための具体的な単位を示す。
- ・実施前: 具体的な数値を示す。実施前は現状の数値です。新規事業の場合は、記入は0となります。
- ・実施後: 目標とする数値を示してください。

環境学習活動や活動基盤強化(マニュアル作成等)の事業については、成果目標を「参加者数の増加」や「環境意識の向上」とするのではなく、本事業を実施することにより、どのように生物多様性の保全・回復に繋げるのか、また、生物多様性の保全の質を高めながら持続的な活動を推進するために必要な取り組みは何か(継続的に活動できるボランティアを増やす、個々のスキルを向上させる等)の視点で目標を団体内で検討し、目標と指標を設定してください。

(4) 活動の成果を測定するための手法の提案

前(3)で設定した活動の成果について、指標に基づき具体的に測定するための手法について記入してください。

活動の成果 測定手法	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>前(3)に示した指標に基づき、具体的にどのような手法を使って活動の成果を測定するのかについて、具体的な方法を記入してください。その際、単に「●●調査を実施する」などとせず、無理なく回答が得られる方法、また、結果をどのように集計・分析するのかなど、その内容を簡潔に記入してください。</p> </div>
---------------	---

6. 助成期間中の活動スケジュールと推進体制

(1) 活動スケジュール

活動スケジュールについて、事業ごとに分かりやすく、具体的に(5W1H※1を意識して)記入してください。

	年・月	活動計画
スケジュール 2025.9 ~ 2026.8		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>活動スケジュールについて、具体的に(5W1H:何を/いつ/何のために/誰がor誰に/どこで/どのように)記入してください。</p> <p>(記入事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施活動名 ・時期(いつからいつまで) ・ねらい、目的 ・参加スタッフ、サービス提供者 ・実施場所 ・活動内容 </div>

※1 5W1Hは、What(何を)、When(いつ)、Why(何のために)、Who(誰が/誰に)、Where(どこで)、How(どのように)です。

(2) 実施体制

活動のための実施体制（協力団体等を含む）について記入してください。

実施体制については、協力団体等を含めてわかりやすく記入してください。図表の挿入は可能です。（任意形式）

連携団体〇〇
●#####
・#####
・#####

〇〇〇〇
●#####
・#####

連携団体〇〇
●#####
・#####

申請団体〇〇
●#####
・#####
・#####
・#####

有識者〇〇
●#####
・#####

アドバイザー〇〇
●#####
・#####

(3) 団体外部のネットワーク

活動に関する専門知識を持つ有識者とのネットワークがある団体は具体的に記入してください。

（企業・大学等所属・役職・氏名など）	想定する役割
<p>専門知識を持つ有識者とのネットワークがある場合は、当該団体の役職・氏名と想定する役割について、記入してください。</p>	

7. 情報発信の計画

活動の状況やその成果を社会に広く発信するための情報発信計画について記入してください。

	情報発信の内容及び頻度	媒体名	情報発信の受け手と想定する効果
申請事業に関する情報発信の計画	<p>●活動の実施状況だけでなく、生物多様性保全の取り組みにより得られた成果を定量的・定性的に示された情報発信を期待します。</p> <p>●情報発信の内容は、地域メディアとの連携/報告書・レポートの公開/報告会・セミナー・研修の開催など、複数の媒体を通じた発信が望ましく、幅広く捉えて計画してください。</p> <p>●団体が発信する情報は、受け手を意識した情報発信とし、受け手にとってどのようなメリットがあるのか。また、どのように周知することで、団体にもメリットがあるか、などを意識して記入してください。</p>		

8. 助成期間終了後の活動の継続性・将来的な広がり

4(2)で設定したビジョンとミッションを実現するため、助成期間終了後に事業を継続、普及、発展させていくための工夫と、その工夫によって期待できる事業の広がりについて記入してください。

助成期間終了後の活動の継続性・将来的な広がり （目安：各300文字程度）	①事業の継続性とそのための工夫について	<p>本事業について、助成期間終了後も継続して活動を行うことができるよう、事業を継続する上での工夫、知見・ノウハウの普及・拡大させる仕組みについて記入してください。</p>
	②事業の将来的な広がり	<p>●上記の「事業の継続性とそのための工夫」を通じて、具体的にどのような波及効果が期待できるのかについて、分かりやすく記入してください。</p> <p>●本事業で得られた知見やノウハウを同じ分野で活動している他の団体へ共有する等、ロールモデルとなるような役割を期待しています。そのような役割を果たす上で必要と考える点、工夫していきたい点を記入してください。</p>

9. 申請助成金

(1) 申請助成金額 円

(2) 予算書

■収入

区 分	金 額 (円)	内 訳
①申請助成金		
②自己資金※		
③その他の資金※		
合計	0	

※申請施策の実施にあたって、①に加え、②や③の自己資金等を支出する場合は必ず記入してください。
 なお、同一の費用を重複して計上することはできません。

■支出

区 分	金 額 (円)		内 訳
	助成金 (①)	自己資金等 (②+③)	
<p>助成対象経費</p> <p>(1) 人件費 申請活動に従事する常勤スタッフ・アルバイト等への賃金</p> <p>(2) 謝礼金 外部から招聘した講師などへの謝礼金</p> <p>(3) 旅費 宿泊費、公共交通機関、有料道路料金</p> <p>(4) 物品・資材購入費 備品（椅子、棚、道具）、電子機器類、資材（肥料、苗木）など</p> <p>(5) 消耗品費 文房具、燃料費 など</p> <p>(6) 会場費 イベント会場などの借料</p> <p>(7) 資料購入費 書籍、文献などの購入費</p> <p>(8) 印刷費 検討資料、配布資料、報告書などの印刷費</p> <p>(9) 通信運搬費 郵便料金、宅配費など</p> <p>(10) 業務委託費 専門家によるアドバイス、調査 など</p> <p>(11) その他 上記項目に該当しない必要経費</p> <p>※自治体の補助金や他団体等の助成金を活用する事業でも応募できます。なお、申請書への記載にあたっては、資金提供元、事業名、助成額等を、予算書収入欄の「その他資金」（内訳）に記入してください。ただし、同一の費用を重複して計上することはできません。</p> <p>※造作物の設置や舗装等に活用する場合は、当該地域及びその周辺環境への影響に十分配慮するとともに、法令や対象地域の条例を遵守することを条件とします。</p>			
合計	0	0	

※募集要項の助成対象の経費について記入してください。以下の支出は助成対象外とします。

- ・助成決定金額の50%を超える人件費
- ・助成決定金額の30%を超える物品購入費(デジタルカメラ、パソコン、タブレット、センサー など)
- ・通常の団体運営に関する経費（事務所家賃、光熱水費、定期刊行物発行経費など）
- ・1回のイベント等で終了する活動経費
- ・通信運搬費の電話料、プロバイダー料等の情報通信に関する経費
- ・助成対象事業から得られる収入（講師謝礼など）の他事業への充当
- ・当該団体の関連団体（団体構成員が役員などを兼務あるいは資本関係のある団体など）への委託
- ・自団体が支払い先となるような支出、その他M C Fが不適当と判断した経費

10. 協働する団体の概要（協働申請の団体：必須）

団体名					
団体種別	<input type="checkbox"/> NPO法人		<input type="checkbox"/> 法人格なし		
主な活動分野・領域					
代表者名					
設立目的					
設立時期			会員数(人)		
前事業年度 財政状況	経常収益			経常支出	
今事業年度 予算	経常収益		円	経常支出	
他の助成機関 からの助成	助成団体名		助成時期	助成金額(円)	助成内容

協働申請の団体は、必須となりますので、項番10、11をご記入ください。

11. 協働する団体の概要

○協働する団体が持つ専門性・実績について記入してください。（団体毎に簡潔に）

○協働する団体と連携することにより、どのような相乗効果が期待できるのか記入してください。（団体毎に簡潔に）